

日本ロレンス協会第 44 回大会（2013.6.22-23, 北九州市立大学）報告

会場は北方キャンパスで一番高い建物（本館）です。



6月22日(土)

1. 武藤浩史会長による「開会の辞」で日本ロレンス協会第44回大会は幕を開けました。



2. 佐藤真人先生（北九州市立大学文学部長）からご挨拶いただきました。



3. 一般発表と招待発表、二種類の研究発表があり、両発表の興味深い内容をめぐり予定時間を超過して活発な質疑応答が行われました。

①



②



4. 昨年のリーディング公演のフォローアップ・シンポジウム「小田島恒志訳『ホルロイド夫人、夫を亡くす』の徹底分析」では、昨年の感動の秘密が解き明かされました。



5. 水田博子会員が 2013 年「西村孝次賞」を受賞しました。



6. 受付は北九州市立大学学生スタッフの皆さんにご協力いただき、新任の近藤康裕会計が取り仕切りました。



7. 懇親会はキャンパス内の厚生会館で行われました。開催校委員・田部井世志子先生のおかげで、会員は九州の様々な料理を堪能することができました。



6月23日（日）

8.「炭鉱と文学——ロレンスからオーウェルへ」は、*Sons and Lovers* 出版 100 周年のこの年、北九州市というこの場所にふさわしい内容の充実したシンポジウムでした。



本大会は成功裏に幕を閉じました。皆さん、本当にありがとうございました。

次年度の第45回大会は6月か7月に開催予定です。大会会場の相模女子大学でお会いしましょう。